

清水眞澄教授 略歴・業績

略歴

- 一九三九・八・一二 横浜市鶴見区（現住所）にて出生（父 巖、母 信子）
- 一九四六・四 横浜市立末吉小学校入学
- 一九五二・三 同校卒業
- 一九五二・四 中学校入学
- 一九五五・三 同校卒業
- 一九五五・四 芝高等学校入学
- 一九五八・三 同校卒業
- 一九五八・四 東北大学文学部入学
- 一九六二・三 同大学文学部史学科東洋芸術史科卒業
- 一九六二・四 黒沢通信工業株式会社勤務

- 一九六六・一二
 - 一九六七・二
 - 一九七五・四
 - 一九七八・四
 - 一九七九・四
 - 一九八二・三
 - 一九八二・四
 - 一九八二・四
 - 一九八四・四
 - 一九八四・四
 - 一九八五・四
 - 一九八八・四
 - 一九八九・二
 - 一九八九・四
 - 一九八九・四
 - 一九九〇・一
 - 一九九〇・五
 - 一九九一・三
- 同退社
- 神奈川県立博物館学芸部研究員
- 同主任研究員
- 法政大学非常勤講師（〽一九八三・三）
- 青山学院大学非常勤講師（〽一九九〇・三）
- 神奈川県立博物館退館
- 成城短期大学助教
- 江東区文化財保護審議会委員（〽現在）
- 鶴見大学非常勤講師（〽一九八七・三）
- 東京工業大学非常勤講師（〽一九八五・三、一九八六・四〽一九八七・三）
- 成城短期大学教授
- 豊島区文化財保護審議会委員（〽二〇〇七・二）
- 秦野市郷土館基本構想等策定委員会委員（〽一九九〇・三）
- 成城短期大学学長（〽一九九四・三）
- 成城学園評議員（〽一九九六・三）
- 横浜市歴史博物館展示委員会委員（〽一九九一・五）
- 成城学園理事（〽一九九一・二）
- 秦野市博物館基本計画調査検討委員会委員（〽一九九四・二）

- 一九九一・四 三井文庫評議員（〓二〇〇五・五）
- 一九九二・一 厚木市博物館専門委員会委員（〓一九九五・三）
- 一九九二・一〇 横浜市歴史及び文化財関係施設資料収集審査委員会委員（〓二〇〇四・三）
- 一九九三・一二 板倉町歴史民俗博物館策定・機能委員会委員（〓一九九四・一一）
- 一九九四・一 成城学園理事（〓一九九六・三）
- 一九九四・四 組織変更により成城大学短期大学部教授（〓二〇〇二・四）
- 一九九四・四 同学部部長（〓一九九六・三）
- 一九九五・一二 沖縄県立芸術大学非常勤講師（〓二〇〇八・一二）
- 一九九六・五 川崎市文化財保護審議会委員（〓二〇〇八・四）
- 一九九六・九 文化庁文化財保護審議会専門委員（絵画・彫刻）（〓二〇〇六・八）
- 一九九八・二 鎌倉市教育委員会美術工芸作品収集選定委員会委員（〓現在）
- 一九九六・四 成城学園評議員（〓二〇〇二・三）
- 一九九八・四 神奈川県文化財保護審議会委員（〓二〇〇八・四）
- 二〇〇〇・一 静岡県文化財保護審議会委員（〓現在）
- 二〇〇一・三 文部科学省独立行政法人評価委員会委員（国立美術館・博物館、文化財研究所部会）（〓二〇〇七・二）
- 二〇〇二・四 成城大学文芸学部芸術学科教授（〓二〇一〇・三予定）
- 二〇〇二・四 財団法人氏家浮世絵コレクション評議員（〓現在）

- 二〇〇四・一 鎌倉国宝館協議会委員（～現在）
 二〇〇五・五 財団法人三井文庫理事（～現在）
 二〇〇五・八 三井記念美術館館長（～現在）
 二〇〇七・四 成城大学学長（～二〇一〇・三予定）
 二〇〇七・四 成城学園理事・評議員（～二〇一〇・三予定）
 二〇〇七・四 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産一覧表記載推薦書作成委員会委員（～現在）
 二〇〇八・四 独立行政法人国立文化財機構外部評価委員会委員（～現在）
 二〇一〇・一 東京都動物園有識者会議委員（～現在）

業績

著書

- 一九七九・七・一一 『鎌倉大仏』 有隣堂
 一九八二・一〇・三〇 『仏像』 平凡社
 一九八三・五・二〇 『日本美術史』 法政大学
 一九八五・二・二〇 『鎌倉の仏像文化』 岩波書店
 一九八六・三・三一 『神奈川の平安仏』 神奈川合同出版

- 一九八八・四・二四 『室生の里有情』 佼成出版
- 一九八九・三・三一 『中世彫刻史の研究』 有隣堂
- 一九九〇・四・一 『人間の美術』 六巻―末世の絵模様― (共著) 学習研究社
- 一九九一・九・三〇 『日本の仏像』 一卷―如來― ぎょうせい
- 一九九一・一〇・三一 『日本の古美術』 一六巻 新薬師寺と白毫寺・円成寺 (共著) 保育社
- 一九九二・二・一 『三井家旧蔵 能面』 (編・著) 学習研究社
- 一九九九・二・二〇 『仏像と人の歴史発見』 里文出版
- 二〇〇〇・八・五 『美術史論叢―造形と文化―』 (編・著) 雄山閣
- 二〇〇七・五〃二〇〇八・六 『週刊日本の仏像』 全五〇号 (総監修) 講談社
- 二〇〇八・九・九 『原寸大日本の仏像 京都編・奈良編』 (総監修) 講談社
- 二〇〇九・一〇・二八 『よくわかる仏像のすべて』 講談社

論文・報告書・解説

- 一九六九・三・三一 「関東の院派仏師について」 『神奈川県立博物館 研究報告』 二号 神奈川県立博物館
- 一九六九・九・一 「院派仏師について―院尚・院賢・院円―」 『三浦古文化』 六号 三浦古文化研究会
- 一九七二・六・一五 「阿弥陀堂勝長寿院の建立について」 『金沢文庫研究』 一九四号 金沢文庫

- 一九七二・七・一 「仏師院朝と吉仲莊」 『仏教芸術』 八六号 毎日新聞社
- 一九七二・九・三〇 「五島美術館の愛染明王像」 『三浦古文化』 一二号 三浦古文化研究会
- 一九七三・三・三一 「二宮町の仏像（Ⅰ）」 『二宮文化財調査報告書Ⅰ』 二宮町教育委員会
- 一九七三・九・一 「円覚寺正伝庵の明岩正因像」 『鎌倉』 二一〇号 鎌倉文化研究会
- 一九七三・一一・一 「京都宝積寺の十一面観音立像」 『MUSEUM』 二七二号 東京国立博物館
- 一九七四・九・二〇 「仏師院広とその作例」 『国華』 九七三号 国華社
- 一九七四・九・三〇 「東漸寺の薬師如来坐像について」 『三浦古文化』 一六号 三浦古文化研究会
- 一九七五・三・三一 作品解説 『神奈川県文化財図鑑』 彫刻編 神奈川県教育委員会
- 一九七五・七・一 「仏師運慶の勾当職と堂衆の問題」 『仏教芸術』 一〇二号 毎日新聞社
- 一九七五・九・一 「鎌倉地方の彫刻とその様式」 『MUSEUM』 二九四号 東京国立博物館
- 一九七五・九・二〇 「常楽寺の木造十二神将像」 『川崎市文化財調査集録』 一〇号 川崎市教育委員会
- 一九七六・三・三一 「二宮町の仏像（Ⅱ）」 『二宮文化財調査報告書Ⅱ』 二宮町教育委員会
- 一九七六・五・三〇 「正統院木造仏国師像について」 『仏教芸術』 一〇七号 毎日新聞社
- 一九七七・三・三一 「妙楽寺薬師三尊像」 『川崎市文化財調査集録』 一二号 川崎市教育委員会
- 一九七七・三・三一 「阿弥陀寺の彫刻について」 『箱根の文化財』 一二号 箱根町教育委員会
- 一九七七・六・一 「鎌倉時代の院派仏師について」 『国華』 一〇〇一号 国華社
- 一九七八・三・三一 「能満寺虚空蔵菩薩像」 『川崎市文化財調査集録』 一三三号 川崎市教育委員会
- 一九七八・三・三一 「興福院の彫刻について」 『箱根の文化財』 一三三号 箱根町教育委員会

- 一九七八・五・一 「鎌倉地方における星宿関係の遺例について」『三浦古文化』一三三号 三浦古文化研究会
- 一九七八・九・一六 『木造阿弥陀如来立像解体修復報告』二宮町浄土宗浄源寺
- 一九七八・一二・一 『宋風彫刻再考(上)』『仏教芸術』一二二号 毎日新聞社
- 一九七九・三・三一 「正眼寺の彫刻」『箱根の文化財』一四号 箱根町教育委員会
- 一九七九・一二・三一 「長生院の木造阿弥陀如来坐像」『藤沢市史研究』一三三号 藤沢市文書館
- 一九八〇・一〇・一 「藤沢市の彫刻」『藤沢市史』七卷 藤沢市史編纂室
- 一九八一・三・二五 「建長寺木造大覚禪師像と「玉眼」の問題」『神奈川県立博物館 研究報告』九号 神奈川県立博物館
- 一九八一・三・三〇 「五臓六腑のある宋代木造菩薩半跏像」『仏教芸術』一三六号 毎日新聞社
- 一九八一・三・三一 「宝蓮寺の彫刻」『秦野の文化財』一七集 秦野市教育委員会
- 一九八二・三・三一 「二宮町の仏像(Ⅲ)」『二宮町文化財調査報告書Ⅲ』二宮町教育委員会
- 一九八二・六・二〇 「横浜・遍照寺の木造薬師如来像について」『鎌倉』四〇号 鎌倉文化研究会
- 一九八二・九・三〇 「中世の塑像に関する二・三の問題」『金沢文庫研究』二六九号 金沢文庫
- 一九八二・一一・三〇 「東光院の仏教彫刻」『川崎市文化財調査集録』一八号 川崎市教育委員会
- 一九八二・一一・三〇 「寿福寺の木造国一禅師坐像」『川崎市文化財調査集録』一八号 川崎市教育委員会
- 一九八三・一・三〇 「日向薬師宝城坊の仏像」『神奈川県史編纂室』五〇号 神奈川県史編纂室
- 一九八四・一一・三〇 「旧東大寺油倉の大黒天像について」『仏教芸術』一五七号 毎日新聞社

- 一九八六・一一・一 「光伝寺木造地藏菩薩立像」 『三浦古文化』 四〇号 三浦古文化研究会
- 一九八七・七・三一 「館山の仏像」 館山市立博物館
- 一九八七・九・一 「仏師院豪とその作例」 『MUSEUM』 四三八号 東京国立博物館
- 一九八七・一二・一〇 「仏師院尊論」 『成城短期大学紀要』 一九号 成城短期大学
- 一九八八・三 「秦野の仏像」 秦野市教育委員会
- 一九八九・三・三一 「東国における院派仏師の動向」 『中世彫刻史の研究』 有隣堂
- 一九八九・三・三一 「中世仏師の肩書き」 『中世彫刻史の研究』 有隣堂
- 一九八九・三・三一 「法橋円覚銘の仏像一体」 『中世彫刻史の研究』 有隣堂
- 一九九〇・七・三一 「南足柄市の仏像」 『南足柄市史』 南足柄市市史編纂室
- 一九九〇・一一・一 「小田原氏本誓寺の阿弥陀如来立像について」 『三浦古文化』 四八号 三浦古文化研究会
- 一九九一・二・二八 「箱根町の仏像」 『箱根の文化財』 一六号 箱根町教育委員会
- 一九九一・七・三一 「院尊と明円」 『上野文化財団助成 研究会報告書』 二一冊 京都国立博物館
- 一九九一・九・三〇 「仏師院興作の京都・妙覚寺木造日蓮上人坐像」 『仏教芸術』 一九八号 毎日新聞社
- 一九九二・三・一 「院派仏師の現存する銘文等資料について」 『紀要』 二二号 成城短期大学
- 一九九二・七・三一 「院政期における一仏師の生涯―仏師院覚をめぐる―」 『院政期の仏像』 京都国立博物館
- 一九九二・一二・五 「東京都 勝林寺の木造釈迦如来坐像」 『三浦古文化』 五一号 三浦古文化研究会

- 一九九四・三・三一 『小田原の仏像銘文集―信仰と造形の歴史―』 小田原市市史編纂室
- 一九九四・三・三一 『岐阜白川村の仏像』 白川村教育委員会
- 一九九五・三・二〇 「仏師院助と院政期における造仏界の動向」 『佐伯有清先生古稀記念 論文集 日本
の祭祀と仏教』 吉川弘文館
- 一九九五・三・三一 「岐阜・安国寺の彫刻と歴史」 『上原和博士古稀記念 美術論集』 中央公論事業出版
- 一九九五・三・三一 「伊勢原市の彫刻」 『伊勢原市史』 通史編 伊勢原市
- 一九九五・一・一一 特別展図録『仏像―院派仏師の系譜と造像―』 横浜市歴史博物館
- 一九九六・五・二五 「鎌倉大仏隠の岐阜・新長谷寺木造釈迦如来坐像について」 『鎌倉大仏史研究』 創
刊号 鎌倉大仏史研究会
- 一九九七・一・二〇 『岐阜白鳥町の彫刻―白山信仰と造形―』 白鳥町
- 一九九八・三・一 「奥美濃白鳥町長滝における環境変化と仏像等文化遺産の歴史」 『紀要』 二八号 成
城大学短期大学部
- 一九九九・三・一 「鎌倉・禅居院の観音菩薩半跏像について―中国像との形姿の比較を中心にして―」
『紀要』 三〇号 成城大学短期大学部
- 一九九九・三・一五 「小田原の彫刻史と「小田原仏師」」 『おだわら―歴史と文化―』 一二号 小田原市市
史編纂室
- 一九九九・三・三一 『高賀山の信仰と造形』 成城大学仏像調査団
- 一九九九・三・三一 「善立寺の仏像」 『川崎市文化財調査収録』 三四号 川崎市教育委員会

- 一九九九・五・一 「地方の大仏師と仏たち（一）備中仏師経尋阿波仏師慶尊」『目の眼』二七二号 里
文出版
- 一九九九・六・一 「地方の大仏師と仏たち（二）下総の仏師賢光」『目の眼』二七三号 里文出版
- 一九九九・七・一 「地方の大仏師と仏たち（三）小田原の仏師蓮池左内と宮田新八政重」『目の眼』二
七四号 里文出版
- 一九九九・八・二六 「仏像にみる鎌倉時代の精神と造形」『鎌倉と北条氏』新人物往来社
- 二〇〇〇・三・三一 『伊勢原市の仏像』伊勢原市教育委員会
- 二〇〇〇・三・三一 『豊島区の仏像』豊島区教育委員会
- 二〇〇〇・七・二〇 「鎌倉大仏の鑄造技法について」『紀要』三三二号 成城大学短期大学部
- 二〇〇二・一・三一 「岐阜・即心院の清涼寺式釈迦如来像」『仏教芸術』二六〇号 毎日新聞社
- 二〇〇二・三・二五 「鎌倉大仏の形姿と様式について―宋風との関わりを中心に―」『美學美術史論
集』一四号（東山健吾教授退任記念）成城大学大学院文学研究科
- 二〇〇二・七・三〇 「長滝寺の宋代木造韋駄天立像と善財童子立像」『仏教芸術』二六三号 毎日新聞社
- 二〇〇二・七・三〇 「美濃と飛騨の仏像」『仏教芸術』二六三号 毎日新聞社
- 二〇〇二・一〇・三 「鎌倉大仏の経緯と問題点をめぐって」『鎌倉大仏と阿弥陀信仰展図録』神奈川県立
金沢文庫
- 二〇〇三・一・二〇 「相模の仏像」『国華』一二八七号 国華社
- 二〇〇三・三・一 「岐阜伊自良村の仏像」伊自良村教育委員会

- 二〇〇四・二・二八
 二〇〇四・九・一〇
 二〇〇四・九・三〇
 二〇〇五・三・三一
 二〇〇六・二・一五
 二〇〇六・三・二五
 二〇〇六・三・三一
 二〇〇七・三・三一
 二〇〇七・一・三〇
 二〇〇八・二・二〇
 二〇〇九・七・一一
 一〇一〇・二
 二〇一〇・三・二三

『岐阜・美並村の仏像』 美並村教育委員会

『鎌倉大仏史研究(二)』『成城文藝』一八八号 成城大学文芸学部

『岐阜 矢作町の仏像―附 美しい自然風景―』上矢作町教育委員会

『可児市の平安仏』『可児市史』 可児市

『法雲寺阿弥陀如来像―平成修理の経過とその意義―』法雲寺

『高賀山信仰と那比神宮神社虚空蔵菩薩像について』『民俗学研究』三〇集 民俗学

研究所

『薬王寺の仏像』『薬王寺―仏像 建築 大般若経―』可児市史編纂室

『桜堂薬師の仏像』『瑞浪市桜堂薬師の仏像』瑞浪市教育委員会

『鎌倉大仏 高德院銅造阿弥陀如来坐像』『仏教芸術』一九五号 毎日新聞社

『『三宝絵』の「仏の三十二相」と定朝様式の形成』『三宝絵を読む』吉川弘文館

『正安三年(一三〇一)銘の木造妙見菩薩立像をめぐる』『道教の美術展図録』読

売新聞大阪本社・大阪市立美術館

『Buddhist Sculptures Forms of Faith, and Religious Space in Japan』『The Asian

Art Legacy』IBERSAF: Madrid

『仏像の表象「白毫相」について』『美學美術史論集』一八号 成城大学大学院文学

研究科

その他

- 一九七一・一一・一五 「木造栄西禅師坐像の複製」 『神奈川県立博物館だより』二五号 神奈川県立博物館
- 一九七二・五・一五 「東慶寺観音菩薩半跏像」 『神奈川県立博物館だより』二八号 神奈川県立博物館
- 一九七二・一一・一五 「兜のとれる仏像」 『神奈川県立博物館だより』三一号 神奈川県立博物館
- 一九七三・一〇・一五 「裳裾のはずれる仏像」 『神奈川県立博物館だより』三六号 神奈川県立博物館
- 一九七五・三・一五 「五臓六腑のある仏像」 『神奈川県立博物館だより』四五号 神奈川県立博物館
- 一九七六・三・一〇 「神奈川の平安彫刻と古代文化」 『有鄰』一〇〇号 有隣堂
- 一九七六・三・三一 「神奈川の平安彫刻」 『かながわ文化財』七二号 神奈川県文化財協会
- 一九七六・七・一五 「星の信仰と美術」 『神奈川県立博物館だより』五三号 神奈川県立博物館
- 一九七七・八・一九 「百体の仏像を観る―神奈川の彫刻」 『毎日新聞』毎日新聞社
- 一九七七・一〇・一五 「神奈川の彫刻」 『神奈川県立博物館だより』五七号 神奈川県立博物館
- 一九七八・二・一 「弥勒とその形」 『大法輪』四五卷二号 大法輪閣
- 一九七八・七・二五 「東国の仏像と仏画」 『太陽―仏像・仏画シリーズⅢ』平凡社
- 一九七九・三・二九 「鶴岡八幡宮宝物と神仏分離―移動した宝物 鶴岡八幡宮北斗堂」 『神奈川県立博物館だより』六三号 神奈川県立博物館
- 一九七九・五・一〇 「重さ約百二十トン 鎌倉の大仏（高德院）」 『鎌倉みほとけ巡礼』大日本絵画
- 一九七九・六・三〇 「平安時代の彫刻」 『かながわ文化財』七五号 神奈川県文化財協会

- 一九七九・七・一〇 「鎌倉大仏 造立の謎をめぐって」 『有鄰』一四〇号 有隣堂
- 一九七九・九・一 「仏像の周辺」 『教養月報』三六五号 神奈川県教育委員会
- 一九七九・一一・二〇 「仏像の知識」 『歴史百科―日本古寺事典』 新人物往来社
- 一九八〇・二・一 「方広寺の木造釈迦如来及び両脇侍像について」 『神奈川県博物館協会会報』四一号
神奈川県博物館協会
- 一九八〇・四・二五 「浄土信仰と仏たち」 『太陽―庭と家シリーズVI』 平凡社
- 一九八〇・六・二四 「仏像の入門書」 『歴史百科 日本の歴史書3500』 新人物往来社
- 一九八一・一・二三 「鎌倉地方の彫刻」 『日本古寺美術全集 二巻 鎌倉と東国の古寺』 集英社
- 一九八三・二・二五 「日本の観音菩薩像」 『太陽―仏の美と心シリーズI』 平凡社
- 一九八三・三・二五 「輪郭をあらわす鎌倉文化圏（市内仏像調査）」 『館山市立博物館報』 館山市立博物館
- 一九八三・五・二五 「阿弥陀如来のかたち」 『太陽―仏の美と心シリーズII』 平凡社
- 一九八三・七・二八 「彫像の写実と技法」 『日本の美と文化』八巻 講談社
- 一九八四・一・一五 「虚空蔵菩薩のかたち」 『宗教と現代』五五号 鎌倉新書
- 一九八四・二・二五 「観音の道I」 『太陽―観音の道シリーズI』 平凡社
- 一九八四・三・一 「定朝以前から運慶まで」 『大法輪』五一巻三号 大法輪閣
- 一九八四・五・二五 「観音の道II」 『太陽―観音の道シリーズII』 平凡社
- 一九八四・五・二五 「観音の道III」 『太陽―観音の道シリーズIII』 平凡社
- 一九八四・一二・一 「日本の仏像に見る『東』と『西』」 『月刊かながわ』五二四号 神奈川県民部広報

課

- 一九八四・一二・一九 作品解説『全集日本の古寺』 鎌倉と東国の古寺』 集英社
- 一九八五・四・一八 作品解説『全集日本の古寺』 法隆寺と斑鳩・生駒の古寺』 集英社
- 一九八七・九・一四 「仏像調査千年の心掴む」 『日本経済新聞』 日本経済新聞社
- 一九八九・七・二〇 「仏像鑑賞の手引き」 『東大寺物語』 世界文化社
- 一九九〇・一〇・一〇 「東海地方と近江の仏像」 『仏像を旅する（東海道線）』 至文堂
- 一九九一・八・二六 作品解説『日本美術全集』 運慶と快慶』 講談社
- 一九九一・一一・一〇 「異相の仏たち―中世的精神の表現―」 『有鄰』二八八号 有隣堂
- 一九九三・一〇・三一 「観音菩薩の造形と信仰」 『東海百観音名宝展図録』 名古屋市博物館
- 一九九九・一〇・二六 作品等解説『岩波日本史辞典』 岩波書店
- 二〇〇二・七・五 解説『仏教美術事典』 東京書籍
- 二〇〇二・一〇・一〇 「座談会 鎌倉大仏建立750年」 『有隣』四一九号 有隣堂
- 二〇〇二・一二・一八 「仏像の美容院」 『成城教育』一一八号 成城学園教育研究所
- 二〇〇四・一一・一三 「講演「仏像の顔・仏像の眼」 part II」 『講演会記録』 大幸財団
- 二〇〇六・四・二〇 「民俗学と仏像」 『民俗学研究所ニュース』七二号 成城大学民俗学研究所
- 二〇〇八・三・三 「鎌倉大仏の歴史と造像技法」 井上久美子写真集『鎌倉大仏』 鎌倉大仏殿高徳院
- 二〇〇八・三・三 「シンポジウム 仏師運慶をめぐる新発見と課題」 『金沢文庫研究』三三〇号 神奈

川県立金沢文庫

二〇〇八・四・一〇 「座談会 仏像の顔と眼差し『週刊日本の仏像』刊行にちなんで」『有隣』四八五号

有隣堂

二〇〇八・九・一 「私の好きな仏像」『サライ』四七六号 小学館

二〇〇九・六・五 「座談会 世界への扉を開くタオイズム」『TAO』二八五号 日本道観総本部

二〇〇九・七 「鎌倉大仏の歴史的意義と世界遺産としての位置付け」『武家の古都・鎌倉ニュース』一二号 鎌倉世界遺産登録推進協議会

新聞・雑誌等

一九七八・六・三〇 「私と仕事（折尺と資料に託した日々）」『公研かながわ』六四号 神奈川県公務研修

所

一九七九・七・二九 「ヨーロッパの博物館 上（東洋美術への関心）」『神奈川新聞』 神奈川新聞社

一九七九・七・三一 「ヨーロッパの博物館 中（展示の工夫こらす）」『神奈川新聞』 神奈川新聞社

一九七九・八・五 「ヨーロッパの博物館 下（新しい展示の方法）」『神奈川新聞』 神奈川新聞社

一九八〇・五・二八 「日本とアジア1（仏像〈上〉中国と日本）」『教育学術新聞』一一三二号 日本私立

大学協会

一九八〇・六・四 「日本とアジア2（仏像〈下〉中国と日本）」『教育学術新聞』一一三四号 日本私立

大学協会

- 一九八〇・七・一〇 「『本』の中の博物館（Ⅰ）アラビアンナイトの殺人事件」『神奈川県立博物館だより』
六八号 神奈川県立博物館
- 一九八〇・八・二一 「渦巻菱文漆厄（上海博物館珍藏文物展）」『神奈川新聞』 神奈川新聞社
- 一九八〇・八・二五 「『本』の中の博物館（Ⅱ）死の季節」『神奈川県立博物館だより』六九号 神奈川県立博物館
- 一九八一・二・一〇 「『本』の中の博物館（Ⅲ）カーライル博物館」『神奈川県立博物館だより』七〇号
神奈川県立博物館
- 一九八一・三・二五 「『本』の中の博物館（Ⅳ）カブト虫殺人事件」『神奈川県立博物館だより』七一号
神奈川県立博物館
- 一九八一・三・三一 「ヨーロッパ巡回展随行動戦の記」『神奈川県立博物館協会々報』四五号 神奈川県立博物館協会
- 一九八九・四・一 「『挨拶をする』とは」『パンフレット成城』成城大学
- 一九八九・四・九 「視点を交える」『学生生活』一二二号 成城大学
- 一九九〇・三・三一 「縁がある」『あにゅある』二四号 成城短期大学英語コース
- 一九九〇・四・一 「無心」『パンフレット成城』成城大学
- 一九九〇・四・九 「小さな旅の勧め」『学生生活』一二七号 成城大学
- 一九九〇・七・二五 「将来計画に期待する」『成城学園報』成城学園
- 一九九一・三・三一 「几帳面」『パンフレット成城』成城大学

- 一九九一・四・五 「曲り角」『学生生活』一三三号 成城大学
- 一九九二・三・五 「花」の小面(こおもて)、『ひととせ』一三三号 成城短期大学
- 一九九二・四・五 「120年前の教え」『学生生活』一三九号 成城大学
- 一九九二・九・一二 「仁王像の作者を当てて」『朝日新聞』朝日新聞社
- 一九九三・三・一 「明暗」『ひととせ』二四号 成城短期大学
- 一九九三・四・五 「天狼南中」『学生生活』一四五号 成城大学
- 一九九四・二・一五 「露座の大仏 礎石が語る500年間」『朝日新聞』朝日新聞社
- 一九九四・三・一 「窓と風景」『ひととせ』二五号 成城短期大学
- 一九九四・三・二三 「友情の出発点として」『卒業パーティーしおり』成城大学
- 一九九四・四・五 「前向きにありたい」『学生生活』一五七号 成城大学
- 一九九四・一〇・一 「土井淑子先生を悼む」『成城学園報』成城学園
- 一九九五・三・一 「出会いこそ」『ひととせ』二六号 成城短期大学部
- 一九九五・四・五 「卒業生に新人生を重ねて」『学生生活』一五七号 成城大学
- 一九九五・四・一一 「紙面直言 本質に触れた記事を」『神奈川新聞』神奈川新聞社
- 一九九五・五・一六 「紙面直言 オウム幹部会見記事に疑問」『神奈川新聞』神奈川新聞社
- 一九九五・六・二〇 「紙面直言 物足りぬ自然環境破壊報道」『神奈川新聞』神奈川新聞社
- 一九九五・七・二五 「紙面直言 分かりにくい「照明灯」2例」『神奈川新聞』神奈川新聞社
- 一九九五・八・二一 「紙面直言 心もとない「環境」問題報道」『神奈川新聞』神奈川新聞社

- 二〇〇〇・八・一 「かっこよさに憧れて」 『新世』六三四号 倫理研究所
- 二〇〇五・三・三一 「シンポジウム 第一部「生き残る博物館」 『博物館学雑誌』四二号 全日本博物館学会
- 二〇〇五・一〇・六 「インタビュー 荒俣宏の日本橋21世紀紳士録第7回」 『こんにちは』二六〇号 三井不動産
- 二〇〇五・一〇・一〇 「三井記念美術館開館 対談高階秀爾氏」 『駱駝』三号 小学館
- 二〇〇五・一〇・二〇 「三井記念美術館10月8日開館へ」 『美術の窓』二七二号 生活の友社
- 二〇〇五・一〇・二〇 「三井記念美術館館長清水眞澄さん」 『月刊美術』三六一号 実業の日本社
- 二〇〇五・二・一五 「江戸商人の伝統をいまに伝え、未来に貢献する」 『C u l t i v a t e』二六号 文化環境研究所
- 二〇〇六・一・一 「人物語 清水眞澄さん 子ども達と未来のために―館長の挑戦」 『日本橋』三二一号 日本橋コミュニティセンター
- 二〇〇六・一・二〇 「三井記念美術館の挑戦」 『交詢雑誌』四九一号 交詢社
- 二〇〇七・一・五 「インタビュー 新しい日本橋、開館2年目の春を迎える三井記念美術館」 『週刊読書人』二六六九号 読書人
- 二〇〇七・一・二〇 「日本橋唯一の美術館 三井記念美術館」 『INAX REPORT』一六九号 INAX
- 二〇〇七・四・五 「学長挨拶」 『学生生活』二一四号 成城大学

- 二〇〇七・六・三〇 「所信表明」『成城教育』一三六号 成城学園教育研究所
- 二〇〇七・七・一 「インタビュー 成城学園」『読売ウィークリー』三〇八一号 読売新聞社
- 二〇〇七・七・一〇 「未来社会への貢献」を指して」『成城だより』一三一号 成城大学
- 二〇〇七・七・二五 「美術館・博物館の今―独立法人博物館・美術館の評価委員を終えて」『博物館研究』四七〇号 日本博物館協会
- 二〇〇七・八・一 「学長挨拶」『学生生活』二一六号 成城大学
- 二〇〇七・一二・二 「トップインタビュー 成城学園(兵頭学園長とともに)」『サンデー毎日』四八四八号 毎日新聞社
- 二〇〇八・三・一 「コラム「成城大学そして成城学園の今」」『成城学園報』二五五号 成城大学
- 二〇〇八・四 「学長インタビュー」『SEIJO NEWS PAPER』七号
- 二〇〇八・四・一 「新入生諸君！ 入学おめでとう」『パンフレット 成城』 成城大学
- 二〇〇八・四・五 「学長からのメッセージ」『学生生活』二一八号 成城大学
- 二〇〇八・四・一〇 「我が街 成城人 清水眞澄さん」『成城ライフ』二四号 柁世社
- 二〇〇八・九・四 「「コロナイプ技術の保存と印刷文化を考える会」の趣旨に賛同して」『玻璃彩』一号 コロナイプ技術の保存と印刷文化を考える会
- 二〇〇八・一〇・一 「新しくなった成城学園の今(大学)」『成城学園 募金NEWS LETTER』一
一号 成城大学
- 二〇〇九・四・一 「新入生諸君！ 入学おめでとう」『パンフレット 成城』 成城大学

- 二〇〇九・二・一 「コラム「未来社会への貢献」」『成城学園報』二二六号 成城大学
- 二〇〇九・四・五 「学長挨拶」『学生生活』二二三号 成城大学
- 二〇〇九・七・一〇 「成城教育の「これから」とは」『成城だより』一三五号 成城大学
- 二〇〇九・九・一七 「第60回四大学運動競技大会によせて」『第60回四大学運動競技大会パンフレット』
第60回四大学運動競技大会実行委員会
- 二〇〇九・一〇・一 「コラム「宣言」」『成城学園報』二七四号 成城大学
- 二〇〇九・一一・八 「第40回クローバーの集いによせて」『第40回クローバーの集いパンフレット』
- 二〇〇九・一二・一〇 「漕艇部創立50周年」『成城大学漕艇部創立50周年記念誌』 成城大学漕艇部
- 二〇〇九・一二・二四 「青春とは何か『グリーンハウス』」 東北大学川内テニスクラブ
- 二〇一〇・二・一〇 「第60回四大学運動競技大会を終えて」『四大学運動競技大会 第60年史』

動物園関係

著書

- 一九九五・一二・一五 『世界と日本の動物園を歩く―その美学的愉しみ―』 三修社(著者名 清水あずみ 絵・文)
- 二〇〇〇・八・二〇 『世界と日本の動物園から』 三修社(前著の改訂版 著者名 清水あずみ 絵・文)

エッセイ等

- 一九八三・三・二二
「動物園礼賛」、「動物園の四季」、「動物園の美学」、「人間動物園と動物動物園」、「動物園と動物の名前」、「ボルゲーゼ動物園」、「動物園パンフレット」、「アメリカの動物園に行った川田建氏」『ひととせ』一四〇二二号 成城短期大学
- 一九九一・三・二二
「動物園シリーズ」(一〇一五) 『法政通信』四九二一〜六四三三号(表紙絵とエッセイ)
法政大学
- 一九九一・九・一
「ゴリラの嫁入り 懐かしの記事に「再会」」『朝日新聞』朝日新聞社
- 一九九五・五・一三
「東洋美術史の「動物園」から「象」」『どうぶつと動物園』五五六号 東京動物園協会
- 一九九六・七・一
- 一九九七・六・一
「動物園さんぽ(一〜四) 生活の証明、色と形と、六本のキバ、車椅子の2人」『朝日新聞日曜版』(四回連載) 朝日新聞社(著書名 清水あずみ)
- 一九九八・三・三一
「動物園は創造性の原点だ」『ZOOよこはま』三六号 横浜市動物園友の会
- 一九九八・七・一
「動物園の風景(一〜六) 食べる、寝る、歩く、糞をする、鳴く・吠える、浴びる・泳ぐ」『新世』六〇九〜六一四号(六回連載) 倫理研究所(著書名 清水あずみ)
- 二〇〇三
「動物園で会いましょう」『成城教育』成城学園教育研究所
- 二〇〇五・八・一〇
「動物園を歩く術」『Coyote』七号 スイッチパブリッシング

- 二〇〇六・五・一 「世界「動物園」紀行」 『相鉄瓦版』一四九号 相鉄ホールディングス
二〇〇七・八・一 「いざ動物園 世界クマなく」 『日本経済新聞』 日本経済新聞社
二〇〇九・四・一〇 「座談会 動物園は面白い」 『有隣』四九七号 有隣堂